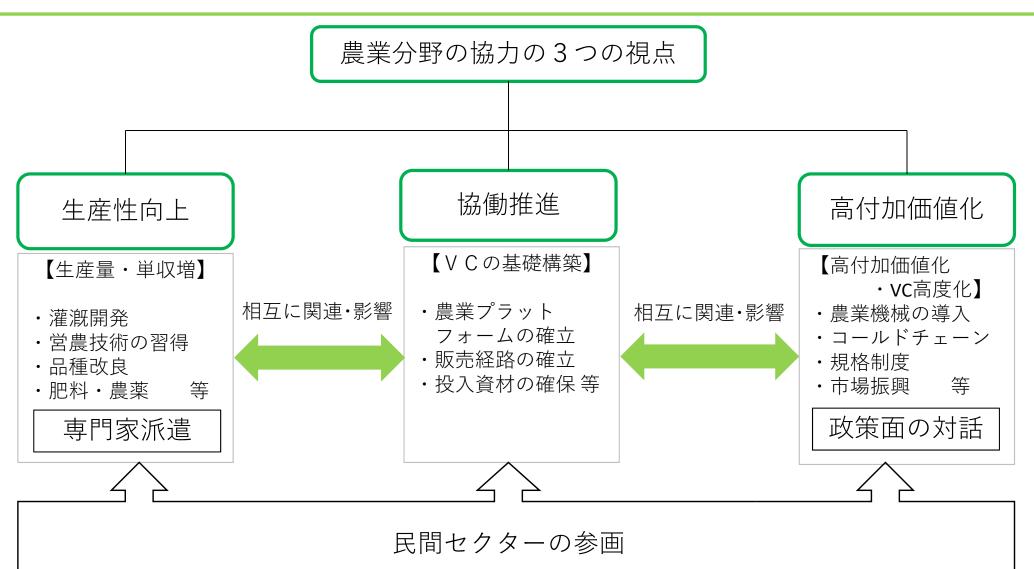
- アフリカにおける農業分野の協力ニーズは、生産から消費まで多岐にわたる。
- これまでは、主に生産性向上に着目して協力を実施。
- 生産と、流通・販売をバリューチェーンとして繋いでいく上で、農業者の協働推進が課題。
- また、国・地域ごとの状況に応じた高付加価値化を進めていく必要。



## フードバリューチェーン構築に関する協力のポイント(アフリカ地域)

これまでのアフリカにおける農業分野における日本の開発協力は、食料増産や貧困削減のため灌漑開発 (CARD支援) や作付品種の多様化(SHEP支援) など生産分野を中心に実施してきた。

今後、農産物の高付加価値化を図るため、<u>農業プラットフォームを構築しつつ生産資材の普及、加工調製施</u>設や流通分野の支援も拡大する。併せて各分野における本邦企業の進出を支援する。

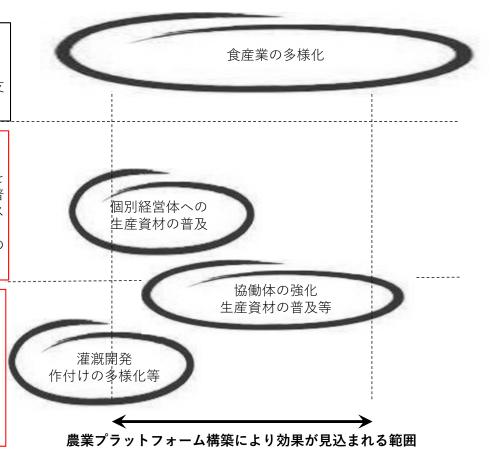
## FVC産業段階国への協力 【目標:食産業の多様化】 ・多様なフードバリュー チェーンの展開・発展を支 援。

## FVC発展段階国への協力

- 【目標:高付加価値化等】 ・農作物の高付加価値化を 図るため、生産資材の普
- 及や流通・加工時のロス低減を支援。
- ・農産物規格等の制度面の 支援も併せて実施。

## FVC構築段階国への協力 【目標:食料増産、組織 強化】

- ・基礎的な農業インフラ 整備と併せて作付けの 多様化を推進。
- ・農業プラットフォーム の構築により組織強化 を推進。



産業 段階 発展 段階 構築 段階



SDG-8 働きがいも 経済成長も



SDG-1 貧困をなくそう



SDG-2 飢餓をゼロに

上記赤枠はODAによる協 力が必要な分野。

生産

製造 加工 流通

バリューチェーンの流れ

消費

参考)

CARD:アフリカ稲作振興のための共同体

SHEP:市場指向型農業振興

農業プラットフォーム:農業分野におけるICTやデータを

活用したサービスの提供